

Q 1 漢字をおぼえることが難しいのですが・・・

【考えられる背景】

- 視覚系認知に混乱があり、漢字の形をうまくとらえられない
- 不器用なため形がうまくとらえられない
- 形はとらえられるのに読みが十分できず書けない
(1文字1音でない漢字や複数の読み方をする)
- 記憶することが難しく、書くことができない

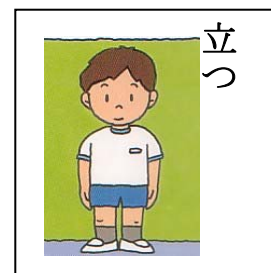
【支援への手がかり】

☆ 漢字の形を認識する

文字を拡大して、直線、曲線、点がどのように構成されているのか理解させましょう。漢字をモールや輪ゴムでかたどったりする方法は、形を認識するとともに書くことに抵抗がある子どもにとって楽しみながらできる教材です。また、ます目のあるノートを使用し、文字の始点、終点をしるしてバランスよく書ける手立てをとってみましょう。点と点を結ぶ、枠からはみださないように書くなどの教材は、協応運動を助けることにもつながるので、取り入れてみるとよいでしょう。

☆ 絵と漢字を関連付けて覚える

漢字の意味を絵（視覚的支援）でとらえることで漢字を習得できる場合があります。子ども自身がカードを作成し習得していったという事例もあります。また、漢字カルタを使用する等、漢字（文字）に対して抵抗感を持たないよう、興味関心を大切にしながら学べるようにしたいものです。



☆ カテゴリー別に覚える

例えば、教室にあるものとして「黒板」「えん筆」「机」、身体各部位として「目」「耳」「口」、色として「赤」「青」「黄」というように学年別での習得にこだわらないで、いろいろなカテゴリーで分け漢字を学んでいくと、実生活と結びついて覚えやすい子どももいます。

☆ 漢字の構成を言葉に置き換える

「立」：「たてーよこーたてーたてーよこ」「森」：「木×3」「公」：「公園の公はハム」

☆ 漢字を部分に分ける



漢字を分解したものをカードにし、神経衰弱ゲームをする。合成してできる漢字は何か？

筆順に沿って指導。偏やつくりの位置が□で示されているので、バランスを取りやすい。

☆ 漢字神経衰弱

